

令和元年度 自己評価結果公表シート

松山幼稚園

1. 本園の教育方針

心身共に健全な幼児の成長発達のために、適切な環境のもと、集団生活を通して幼児の自主性を育み、豊かな人間性を養うべく、この時期に必要な諸能力の開発を助長し、時代の変化に対応できる未来の子どもを育てる幼児教育を推進する。

2. 本園の教育目標

丈夫なからだで元気よく 豊かな心でたくましく みんなと仲良く遊べる子

3. 本年度重点に取り組む目標・計画

幼稚園生活が安心して過ごせるよう環境を整え、一人一人の幼児を大切にされた教育の実施を目指す。

4. 教職員の自己評価における検証結果と報告

対象領域と課題	検証結果と取り組み内容(平均到達ポイント)
I 保育の計画性 新教育要領の基本的理解と実践方法を検討する。	教職員は、理念や教育目標に沿った計画に基づき、保育に当たり、その都度、記録に残し、考慮しつつ保育にあたっている。行事については、半日開催等縮小傾向で行ったため無理のない方向で進めることができた。反省点を今後の課題として取り組んでいきたい。 (70%以上)
II 保育の在り方、幼児への対応 幼児一人一人を理解し、幼児が主体的な活動を通して豊かな体験を得られるように心がけ、多様な関わりを持つ。	幼児理解についても、積極的に取り組み、個人記録にてらして個々に応じた適切な援助ができています。(80%達成) 子どもの姿の読み取りの中で、更により良い方向づけを見つけるよう、今後も、複数の保育者と連携を持ち幼児について多面的に理解をすることが必要。
III 保育者としての資質と能力 日々保育者としての資質を磨き、保育者として意識をし生活をする。 不得意な分野を克服できるよう向上心をもって取り組む。	教員は規範を守り、指示に従い、日々精進していると言える。今後も笑顔を絶やさず自分を前に出し、明るく振る舞ってほしいと思う。技術面については、経験が浅く未熟な点がぬぐえない教員もいる。 (82%) 保育に関して自分の意見を遠慮することなく十分に発言する。

<p>Ⅳ保護者への対応 個人情報守秘義務を守る。保護者との信頼関係を築けるように、子どもの様子など、頻繁に連絡を取り合い、伝達・聴取に気配りをする。クレーム対応は、真摯に受け止め、上司・園長に報告・連絡・相談する。園全体で検討し共通理解の上対処する。</p>	<p>保護者対応だが、親身になり誠意を持って対応できるよう引継ぎ努力していくことを再確認する。 出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善を要するものや、できるものは前向きに取り組んでいきたい。 (80%)</p>
<p>Ⅴ地域への自然や社会とのかかわり 恵まれた自然環境・社会環境を大いに利用して、園外保育や戸外活動の幅を広げていく体験活動を計画する。幼保小の研究会に参加し、地域との活動を広める。</p>	<p>体験活動については、周辺が豊かな自然環境、社会環境に恵まれているので、園外保育等機会を増やしていくことが望ましい。 地域の人達と関わることを意識しながら交流を深められるよう努力が必要。(67%)</p>
<p>Ⅵ 研修と研究 研修会や研究会に積極的に参加する。向上心を持って、保育者としての資質と能力を高める努力を惜しまない。</p>	<p>自己研鑽は、常日頃念頭におき、生涯教育を意識して、これからも意欲を持って引き続き学ぶ姿勢が肝要。(65%)</p>

5. 今年度自己評価に対して翌年度取組むべき課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	教育の質の向上	教職員にとって必要な研修内容を検討し、計画的に研修に取り組むことで、更なる教職員の資質向上を図る。研修報告の内容共有で保育の参考にする。
2	自然や地域社会との関わり	幼児期の環境にふさわしい環境構成をし、園生活を豊かなものにしていく。また、自然や地域社会との関わる機会を増やし、身近な自然に触れ合い人との関りを充実させる。
3	指導計画	幼児一人ひとりの幼児理解の務め、活動に沿って必要な援助が行われていたか、適切であったかを振り返り自己の学びとしていく。必要に応じて教職員と情報を共有し合いよりよい保育実践を図る。
4	安全管理	災害時、不審者、救急、感染症対策などの共通理解を図りつつ、必要に応じて講和の機会を設け、知識を深め、備える。

5. 学校関係者評価

松山幼稚園 学校関係者評価委員会

※今年度は新型コロナウイルス感染症予防の為、委員会の方々に紙面一式を投函させていただき、お目通し頂いたうえでご意見を頂戴しました。

投函日： 平令和2年3月24日(火)

投函先： 評価委員 林 貞子（旧職員）
岩附 恵子（旧職員）
岩淵 悦子（学園評議員・卒園生）
柳澤 隆介（保護者代表・卒園生）

計4名

課 題	評 価 結 果
1 自己評価の結果の内容は適切であったか。	特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。
2 自己評価の結果を踏まえ設定した今後取り組むべき課題は適切か。	特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。
3自己評価で設定した重要点に取り組むことが必要な目標・計画、評価項目の設定は適切か。	特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。
4 幼稚園運営の改善に向けた取り組みは適切か。	特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。
5 その他意見	保護者の声を優先した年でこの結果を踏まえ今後の園の在り方を確立してほしい。子どもを通して保護者との連携を今まで以上に深めてほしい。アンケートで少数ではあるが評価が低い面については、指導や対応を改めて考え保育してほしい。自己分析ではこれから全職員が能力を引き上げることができれば素晴らしいと思う。

保護者各位

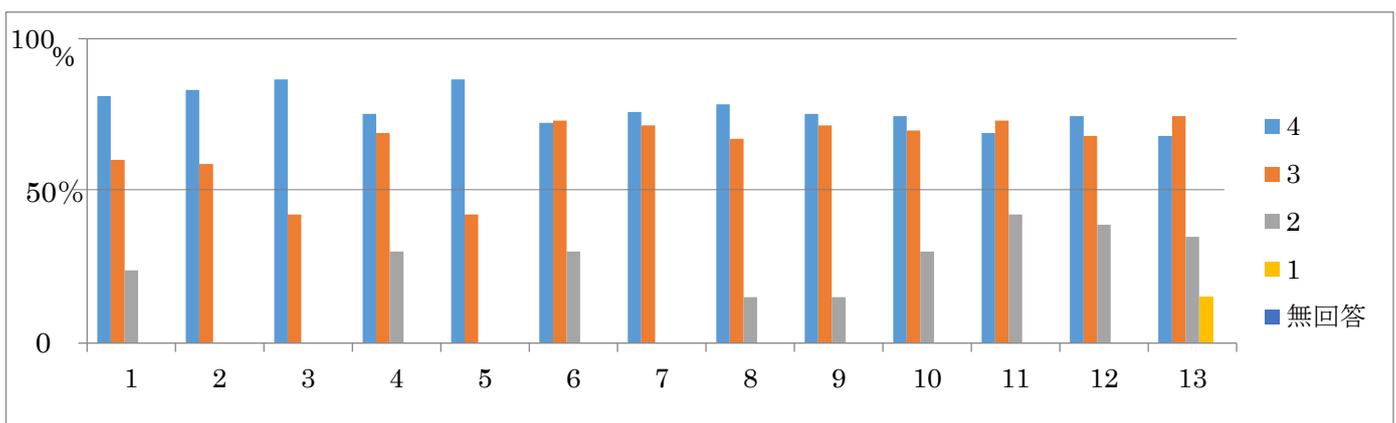
松山幼稚園
理事長 細井 淑子

令和元年度松山幼稚園教育に関するアンケート(学校評価)の結果について

過日は、学校評価のアンケートに89名の方にご協力いただきましてありがとうございました。「教育に関するアンケート」の回答につきまして、下記の通り報告させていただきます。

令和元年度 松山幼稚園 教育に関するアンケート(学校評価)

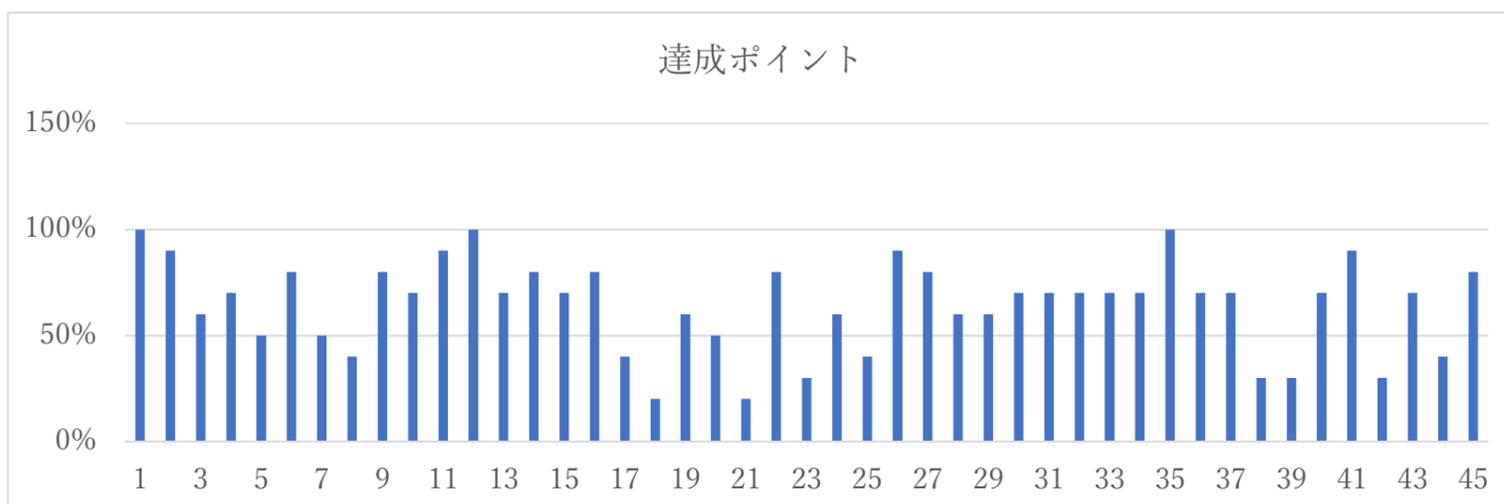
	4	3	2	1	無回答
4=当てはまる(そう思う)					
3=やや当てはまる(どちらかというと思う)					
2=あまり当てはまらない(あまりそう思わない)					
1=いいえ					
1 園児は、幼稚園に行くのを楽しみにしている	67	20	2	0	0
2 園児は、先生と友達とかかわることに楽しさや嬉しさを感じている	83	6	0	0	0
3 園児は、思った事や困ったことを先生や友達に伝えようとしている	39	45	5	0	0
4 幼稚園は、努力目標や指導方針を分かりやすく伝えている	62	24	3	0	0
5 幼稚園は、子どもの興味や関心を大切にされた保育をしている	69	19	0	1	0
6 幼稚園は、幼児の年齢に応じて園生活に必要な生活習慣を身につけさせている	82	7	0	0	0
7 幼稚園は、幼児が自主的に判断・行動できるよう指導にあたっている	72	16	1	0	0
8 幼稚園は、集団生活の中でルールを守る意識や態度を育てようとしている	76	12	1	0	0
9 幼稚園は、子ども達の成長に必要な体験活動や経験の内容が充実している	71	16	2	0	0
10 幼稚園は協力して、あたたかく幼児の指導にあたっている	80	8	1	0	0
11 幼稚園は、環境設備(園舎・園庭・遊具など)に配慮している	76	12	1	0	0
12 幼稚園からの連絡(手紙、メール、ホームページ)は分かりやすくなっている	68	19	2	0	0
13 お手伝いいただいた行事係(内容、人数等)は適当でしたか	64	21	2	0	2



令和元年度 園独自 自分磨きチェック表 教職員

		上	中	下	達成ポイント
1	子どもの表情や・しぐさ・つぶやきなどに心を止めて、声掛けをしたいと思う	10			100%
2	子どもの発見を素晴らしいと思い、感動することがある	9	1		90%
3	その場限りで子どもを判断せず、継続的に判断している	6	4		60%
4	子どもの行動に対して、なぜそうするのか心の理由を考えたり、探ってみる	7	3		70%
5	結果だけでなく、過程や取り組み具合をよく見ている	5	5		50%
6	子どもであろうと適切な言葉遣いを心がけている	8	2		80%
7	園の教育方針を理解している	5	4	1	50%
8	上司の話や文書を理解している	4	5	1	40%
9	保護者の言い分を素直に受け止め、否があれば謝り、出来ることは改善していく	8	1	1	80%
10	保護者の質問や疑問に対し、園全体で考えるよう職場に報告をしたり対応をする	7	2	1	70%
11	保護者との接し方は平等になるよう心がけている	9	1		90%
12	保護者と親しくなっても友達のような言葉遣いはしないよう心がけている	10			100%
13	朝と帰りの挨拶を明るく言っている	7	3		70%
14	人に呼ばれたときは、はっきりと返事をしている	8	2		80%
15	自分の分担以外のことも関係ないと思わない	7	3		70%
16	同僚と共同作業の場合でも自分のこととしてとらえ、協力を惜しまない	8	2		80%
17	指示や伝言事項を正確に確認して伝える	4	6		40%
18	自分の意見がある場合は、職員会議等で述べている	2	6	2	20%
19	文句や愚痴を言わず、決まったことには従う	6	4		60%
20	出来ない理由を考えるより、どのようにしたらよいか対策を考える	5	4	1	50%
21	優先順位を考えて臨機応変に仕事をこなす	2	6	2	20%
22	常に集合時間や開始時間を守る	8	2		80%
23	どんな場所でも整理整頓を心がけると共に、みんなが使いやすいように見直す	3	7		30%
24	同じ注意を二度、三度と受けないよう心がける	6	4		60%
25	緊急の時でも焦らず、落ち着いた行動がとれる	4	6		40%
26	職員同士仲良く派閥やグループをつくらない	9	1		90%
27	同僚や上司、園の批判等軽はずみな行動はしない	8	2		80%
28	勤務中は、私生活の喜怒哀楽を持ち込まずに常に明るく振る舞える	6	4		60%
29	保育者という職種や園の信用を考えて発言をする	6	4		60%
30	保育時間以外でも子どもを育てる保育者として自覚を持ち行動をしている	7	3		70%
31	「あなたはどんな保育感をもっているか」の問いに答えられますか	7	3		70%
32	子どもの育ちを一番に考え、そのためには努力を惜しまない姿勢がある	7	3		70%
33	苦手なことも、出来るだけチャレンジしたいと思う	7	2	1	70%
34	いつも学びの姿勢「向上心」を持ち、努力していきたい	7	3		70%
35	子ども達に優しさや愛情を注ぎたいと思う	10			100%
36	注意されたことを素直に受け止めることができる	7	3		70%
37	常に健康で保育に当たれるよう体調管理に気を配っている	7	3		70%
38	社会の動きにも関心を示し、ニュースや新聞等よく見る	3	7		30%
39	スポーツや趣味、習い事をしている	3	4	3	30%
40	旅行が好きである	7	3		70%
41	自分が成長できそうな所には、アンテナを伸ばしたいと思う	9	1		90%
42	デパートや専門店などのディスプレイに興味がある	3	6	1	30%
43	時間を見て映画やコンサート、美術館.図書館.グルメに目を向け.多様な文化に触れたい	7	1	2	70%
44	幅広い職業、立場、世代との交流がある	4	5	1	40%
45	困った場合が生じた場合は即、同僚や上司に報告、相談をする(一人で抱え込まない)	8	2		80%

※No.18.No.21については、要努力



自己点検(教職員編)分析表

令和元年 12 月 20 日実施分

松山幼稚園

カテゴリー名	平均ポイント
I 保育の計画性	74%
II 保育の在り方・幼児への対応	80%
III 保育者としての能力や良識・適正	84%
VI 保護者への対応	80%
V 地域の自然や社会との関わり	67%
VI 研修と研究	67%

